

北名古屋市 議会だより

2012
8
vol.32

北名古屋市議会 〒481-8501 愛知県北名古屋市熊之庄御櫛60 TEL 0568-22-1111 FAX 0568-23-3140



33機関・団体の参加による水防訓練



9月定例会日程（予定）

9月3日(月)	本会議
9月10日(月)	本会議（一般質問）
9月11日(火)	本会議予備日
9月12日(水)	決算特別委員会
9月13日(木)	決算特別委員会
9月18日(火)	予算特別委員会
9月19日(水)	福祉教育常任委員会
9月20日(木)	建設常任委員会
9月21日(金)	総務常任委員会
9月27日(木)	本会議

○時間：午前10時～

○場所：市役所東庁舎4階

●委員会の傍聴を希望される方は、当日、午前9時30分から午前9時45分までの間に傍聴受付をお済ませください。
委員会の傍聴定員は先着5名で、途中入場、途中退場することができません。

●左に掲げる会議の他、鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会の開催を予定しております。

●日程は、変更する場合があります。
傍聴を希望される方は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

平成24年 第2回定例会

議決した議案……………2P
委員会における
審査報告……………4P
議会改革の取り組み……………4P
個人質問……………5P

第二回定例会審議日程		6月 1日 (金)	2日 (土) 6日 (水)	7日 (木)	8日 (金) 10日 (日)	11日 (月)	12日 (火) 13日 (水)	14日 (木)	15日 (金)	16日 (土) 17日 (日)	18日 (月)	19日 (火) 20日 (水)	21日 (木)	22日 (金)
採決	提案説明、一部議案の質疑・討論・	議案精読	議案精読	議案精読	議案精読	質疑、議案の委員 会付託、一般質問	議案精読	福祉教育常任委員会	建設常任委員会	議案精読	総務常任委員会	議案精読	議案運営委員会	諸般の報告、委員 長報告、質疑、討 論、採決、追加議 案の上程、追加議 案の質疑、議案の 委員会付託
開会、会議録署名 議員の指名、会期 の決定、諸般の報 告、議案の上程、														議案運営委員会 本会議 委員長報告、質疑 討論、採決、閉会

鉄道連続立体交差事業等検討

特別委員会を設置

本市を東西に分断する名古屋鉄道犬山線により、県道名古屋豊山稲沢線などにおいて、踏切遮断による交通渋滞が慢性化するとともに鉄道を挟み、東西間の往来箇所が限定されていることにより、歩いて暮らせるまちづくりの障害となっている。

また、副都心核の駅として徳重・名古屋芸大駅の利便性向上が求められているものの、送迎用車両の駐車スペースや人々が滞留する場所も少なく、乗り換えなどの交通結節点の機能不足など、様々な問題が発生している。

このような状況を鑑み、本市議会では鉄道周辺地域について、多角的・総合的な観点から、現状の問題点を整理し、鉄道の高架化及びその周辺のまちづくりについて、市議会独自の調査

・検討を行うため、平成24年6月22日開催の本会議において、議員提案により、特別委員会の設置に関する議案を上程し、議員全員を構成員とする鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会の設置について、議員全員の賛成により、可決した。



名古屋鉄道犬山線

決 議

本市議会では、「議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議」を議員提案により提出し、賛成多数で可決した。

議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議

平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定され、日の丸(日章旗)を日本の国旗とすることについて、法律の根拠が与えられた。これからの国際社会においては、各国の国民が交流し、友好を深め、平和を築くための相互の文化や伝統を尊重し、かつ、お互いの国旗や国歌に敬意を表することが大切である。日の丸(日章旗)は、オリンピックなど大規模な国際交流の場において、国家の象徴として、多くの人に受け入れられている。

また、本市の市章は、世界へ向けての大きな可能性と未来像、また、市民の限らない力と希望を表し、本市の象徴として広く市民に受け入れられている。

本市議会議員は、国旗及び市旗のもと、国際社会の一員、かつ、市民の代表であるという意識を高揚させ、本市の将来に向けた諸施策に対する審議に臨むため、北名古屋市議会議場に国旗及び市旗を掲揚するものである。

以上、決議する。

平成24年6月22日

北名古屋市議会

第二回定例会 ◇上程議案とその審議結果◇

北名古屋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
北名古屋市図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
人権擁護委員の候補者の推薦について	原案適任	全員賛成
特別委員会の設置について	原案可決	全員賛成
議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議	原案可決	賛成多数

委員会における審査報告

～主な議案質疑の内容を紹介します～

福祉教育常任委員会

▼北名古屋市図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質問 図書館協議会委員の定数について、狭義に限定した改正ではないか。

答弁 地域主権第二次一括法に基づき、文部科学省令で定められた基準を参酌し、教育委員会でも画的に検討したものである。

質問 図書館運営について、基本的な考え方は。

答弁 資料の整備・充実を図り、市民に密着したサービスを充実すること。さらには、子どもたちが本の楽しさを知り、親しまれる図書館づくりに努めるとともに、居心地よく安心できる場を提供することである。

議会運営委員会

▼議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議

質問 今なぜ、議場に国旗を掲げる必要があるのか。

答弁 国旗が制定された時に掲揚すべきであった。遅いくらいだと思っている。

質問 日の丸は、戦争の象徴たるイメージを持たれる方もいる。掲揚に反対する意見もあり、議場には相応しくないのではないか。

答弁 市の式典等では、国旗を掲揚している。オリンピック等でも、選手の活躍に加え、日の丸が掲揚されると感動を覚える。国旗として制定されており、ごく自然な儀礼的振る舞いとして認識されているものと考えている。

※本件は、議員提案による議案のため、議員間で行われた質問・答弁です。

議会改革の取り組み

北名古屋市議会は、合併時に在任特例を適用せず、24人の議員でスタートしました。その後、地方分権にふさわしい市議会の活性化を図るため、平成19年4月に全議員をもって構成する議会改革推進協議会を設置し、議会基本条例の制定など、議会改革の取り組みを進めています。

市民の声を反映し、親しまれる開かれた市議会の実現に向け、議会傍聴に関するアンケート、市議会モニター制度の創設により、市民の方に評価をいただいておりますが、より多くの市民の皆様に議会改革の取り組みを知っていただくため、今後、協議会における協議経過を報告させていただきます。

○ 検討すべき課題

- ・ 議員定数、報酬、政務調査費
- ・ 一般質問のあり方
- ・ 通年議会
- ・ 議会報告会
- ・ インターネット及び庁舎内における本会議中継

協議会は、数多くある検討課題を整理し、議員定数・報酬・政務調査費を最優先協議事項とし、あわせて一般質問のあり方、議会報告会の実施について早急に結論を出すこととしました。

13名 市政を問う

個人質問 (要旨)

市政クラブ

永津 正和

通学路における安全性の確保について

質問

全国では重大な交通事故が多発している。特に通学路における事故は看過できない。本市の状況を見ると、こうした事故の発生もなく、安全で安心な学校生活を送ることができており、市民の皆様も安堵されていることと思うが、事故はいつ起こることも限らず、今後とも十分な対応をしていたきたい。この問題に関していえば、通学路の安全性の確保も大変重要な要素を持っていると考えられる。本市の通学路は、大半が狭く、歩車道の分離もなされてい

ないところが多くあり、施設整備の老朽化も多数見受けられる。歩道及び白線等の安全施設を点検すると同時に、必要な箇所は、小学校、公共施設を中心に、早急に修繕するなど対応すべきと考えるが、当局の見解は。

答弁 (施設管理課長)

最近、国内では通学時に悲惨な交通事故が多発している。本市ではこうした事故は発生していないが、いつ発生するとも限らない。本市の通学路は、すべてが構造物により歩道と車道が分離されているわけではなく、区画線により区分している箇所も多くあるため、現状を確認して計画的に整備していく考えである。舗装や白線の不良箇所が見受

けられる通学路については、早急に安全点検を実施し、関係機関と協議のうえ、通学路、公共施設等の周辺を最優先に取り組み、本市の将来を担う子どもたちのために、安全・安心なまちづくりを推進していきたい。

その他の質問

・水田周辺における草刈の実施について

市政クラブ

阿部久通夫

市内の治水対策について

質問

新川流域の開発が進み、常に水害の危険に脅かされている。新川圏域河川整備計画に基づく総合治水対策等が進められ、治水安全度は一定の基準に達したものの、十分な安全度に達していない。特に、新川の支川となる水場川では、東西に走る都市下水路の整備が先

行したのに対し、拡幅改修が進んでいないことから、雷雨程度でも越水の危険があり、早急な整備は緊急な課題である。現時点での水場川の整備事業の進捗状況、今後の計画、見通しは。また、下水道や雨水貯留浸透施設の整備、流域流出量の抑制及び保水・遊水機能の保全対策、浸水被害拡大防止対策など総合治水の進捗状況と今後の方針は。

答弁 (建設部長)

水場川改修の進捗状況は、昨年度末までに、浮野橋下流の護岸整備が終了し、今年度はその上流の護岸を整備し、名古屋市内の改修は概ね完了する予定である。今後の改修は計画に基づき、具体的な設計が順次策定されていくが、水場川沿いの沖村六反周辺地区の開発計画で河川用地を確保するなど、関連事業の事業化に努め、河川改修の早期実現につなげたい。総合治水対策では、雨水貯留事業の

進捗率は14パーセント、下水道雨水管渠の整備進捗率は4・3パーセントとなっている。市の公共工事では、歩道を透水性の舗装とし、民間開発では6,606平方メートルの雨水貯留施設を設置している。防災情報の市民への提供等ソフト対策もあわせて実施している。

再質問

水場川の問題は毎年、県に陳情しているが、地域の声を生で届けたり、雨量と水場川の水量の関係を調査した資料の提出等を検討すべきでは。

再答弁 (建設部長)

市、議会、市民が一体となつて生の声を県へ届けるためにも、水場川の現状調査・研究を進める必要があると考える。

その他の質問

・個人情報保護法の趣旨の徹底を

公明党

金崎 慶子

国民健康保険事業の
医療費削減について

質問

少子高齢化社会といわれ急速に進む高齢社会、本市の高齢化率は20・8パーセントになった。被保険者の高齢化や医療の高度化により、医療費が増大する中で、国民健康保険財政は依然として厳しい財政状況にあり、効果的な医療費削減対策をすべきと考える。本市は昨年10月からレセプトを電子データ化し、被保険者が使用している薬をジェネリック医薬品に切替えた場合の差額通知を、平成23年から薬代が高額になっている上位200人に2回郵送しているが、医療費削減の効果は。また、国民健康保険証更新時にジェネリック医薬品希望カードを同封し、利用促進に取り組む考えは。更に、重複受診者、頻回受

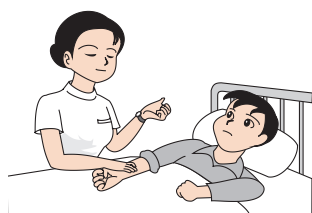
診者に対し、保健師による訪問指導を実施する考えは。

答弁（市民健康部次長）

本市の平成23年度ジェネリック医薬品差額通知の医療費削減効果については、20・3パーセントの方がジェネリック医薬品を利用され、年間で312万円の削減となった。カードの同封については、削減効果が現れていることもあり、取り組めるよう検討する。また、市の訪問指導の対象となる重複多受診は、月に数名と少ないため、近隣市町の状況を見ながら進めていく。

再質問

重複多受診世帯に対する訪問指導は、対象者が月に



数件とのことであるが、担当課とも検討して、実施していただきたいが、当局の考えは。

再答弁（市民健康部次長）

本市の国保医療課には、現在、保健師がいないので、担当部署と連携を図りながら、実施できるよう検討したい。

その他の質問

・障がい者用駐車場の「利用証」交付について

公明党

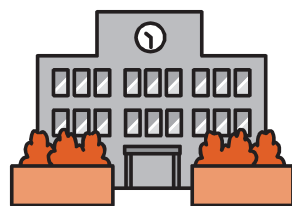
塩木 寿子

学校など公共施設の非構造
部材の耐震対策について

質問

東日本大震災では学校施設、建物の天井や照明器具、外壁などの非構造部材が崩落したことにより、避難所として使用できないばかりか、死亡事故も発生した。学校などの公共施設は防災

避難場所



拠点、避難拠点でもあり、その安全性の確保、防災機能の強化は早急に進めていく必要がある。本市において耐震点検した結果、耐震対策が必要となったものの内、緊急的に対策を講じるべきものについては、国の今年度予算を活用するなど、速やかな対応が必要ではないか。また、その他の公共施設の非構造部材の耐震化も、早急に実施していく必要があると考えるが、当局の考えは。

再質問

点検項目及び窓ガラス飛散防止フィルムについての進捗状況は。

再答弁（教育部長）

非構造部材では外壁の剥離、天井材の落下等11項目にわたり、9月までに終わるよう実施している。ガラスの飛散防止については、老朽化施設の修繕改修が山積し、実施が遅れているが、学校施設整備計画に組み入れ、早期に予算計上したい。

答弁（教育部長）

昨年度、学校の非構造部材の改善点の調査を実施し、本年、危険箇所を把握する調査、点検を実施している。公共施設の耐震化を進める

その他の質問

・防災・減災対策の推進について
・小・中学校へのミストシャワーの設置について

日本共産党

渡邊 紘三

原発稼働ゼロから原発
ゼロのまちづくりを

質問

原発事故が発生すれば、憲法が保障している人間の生活と生存権を奪うことになる。政府は自治体に再稼働を押し付けているが、電力不足を理由とした再稼働や原発関連の自治体への交付金などで周辺自治体の住民の生活圏を奪うことはできない。原子力事業を見直し、原発に頼らないまちづくり、市民の生命と財産を守り、子どもの将来の夢を壊さないためにも、原発ゼロのまちづくりを目指す行政の実現や「脱原発を目指す首長会議」への参加など、原発に頼らない平和な社会づくり、まちづくりについて、市長の考えは。

答弁（市長）

原発の再稼働については、慎重に結論を出してほしいと思っている。国として、原発に対する依存度をいかに切り替えていくか、一刻も早く国民に対して、責任ある意思を示されるようお願いしている。また、「脱原発を目指す首長会議」への参加については、他の自治体とも連携を取りながら、慎重に検討していきたい。

再質問

原発を廃止し、再生可能エネルギー、自然エネルギーにもっと力を入れるべきである。市民の生活を守るためには、はつきりと原発反対、再稼働反対という立場を取るべきではないか。

再答弁（市長）

基本的には原子力に頼らない社会というものが望ましいと考えているが、電力不足に陥った場合、日本経済への影響等については、不安を隠せない面もある。代替

エネルギーに関する計画を明確にし、国として原発に頼らないということを、いち早く国民に示されることを願っている。

その他の質問

・自然・再生可能エネルギー普及・促進のまちづくりを
・地震災害に強いまちづくりを

北名古屋市民クラブ

谷口 秋信

側溝整備について

質問

側溝は、重要な都市基盤インフラとしての役割がある。改修要望に対し、優先順位をつけて計画、施工に着手されると思うが、その優先度の確定方法も市民に対して平等公平であると考えられるものでなければならぬ。本市において側溝整備の優先度の確定はどの

ようにされているか。また、今後の側溝整備をどのような構想で進められるのか。

答弁（都市整備課長）

本市における側溝整備の方針は、要望箇所の現地確認を行い、各自治会から示された優先順位を考慮し、選定している。市域全体において、側溝整備における地域格差があつてはならないが、限られた予算の中で対応しているのが現状であり、地域のバランスを始め、側溝の深さ、交通量、通学路であるかどうか等の条件の他、土木事業全体のバランスも考え選定している。しばらくは、この方針の基、整備を進めるが、市全体から見た未整備状況のランク付けを行い、整備優先度の高い順から整備を進めていくことも必要であり、今後の課題として取り組んでいきたい。

再質問

土木事業全体のバランスも考え選定されているとのことであるが、本市の側溝の役割については、公共下水道整備の供用も進んでいるが、雨水排水路へとシフトされつつある。市下流部の内水被害軽減も目的の一つとして、優先順位、確定条件に含まれていくものと思われるが、当局の見解は。

再答弁（都市整備課長）

排水路の整備は、下水道事業と排水路改修事業の2つの方法で行っている。基本的には下流から整備を行い、下水道事業は、整備計画に基づき計画的に、排水路改修事業は、地元からの要望を加味し、側溝整備も市主導型で整備を進めている。

その他の質問

・市内企業の流出、倒産、廃業対策について

市民民主クラブ

松田 功

軽度・中等度難聴児への
支援について

質問

難聴は、両耳70デシベル以上の方に身体障害者手帳が交付され、補聴器の購入費用の9割が補装具費として支給されている。現行制度では、身体障害者手帳の交付対象外となる軽度・中等度の難聴児は、十分な支援を受けられず、補聴器の購入費が全額自己負担になり、その負担は大きい。市として、軽度・中等度の聴覚障害者に対して補聴器などに係る助成制度を創設する考えは。

答弁（社会福祉課長）

聴覚に障害があり、特別な支援が必要とされた児童・生徒に対し、教室で席を前列にするなど、一人一人の状態に応じた適切な指導と必要な支援を行っている。



再々質問

学校だけでなく、家に帰ってからの生活でも支援が

再答弁（社会福祉課長）

今後、児童課を通じて把握に努めるとともに、研究を進めていきたい。

再質問

保育園・幼稚園の確認は今後されるのか。

る。また、一宮聾学校の巡回指導により言語指導などを行うとともに、先生・保護者を交えた懇談を随時行っている。今後は、助成制度に対する国や県の動向も注視しながら、支援のあり方を研究したい。

再々答弁（社会福祉課長）

学校教育の現場の方とともに、今後の状況や動向も踏まえて研究したいと思っている。

その他の質問

・今後の竜巻対策について

市政クラブ

渡邊 幸子

AEDの普及促進について

質問

心肺停止による突然死から尊い命を守る取り組みとして、本市においてはAEDの必要性や有効性についての啓発により、設置が進められ心強く感じている。他市ではコンビニ等の協力

答弁（健康課長）

は。

本市では、市民の生命の安全を確保し、心肺停止による突然死から尊い命を守るため、現在55カ所の公共施設にAEDを配置し、救命体制の整備を図るとともに、関係機関の協力を得て、市職員等を対象とした救命講習会を年4回程度実施している。今後、既にAEDを設置している市内事業所を対象として、事業所周辺

再質問

掲示板等を利用した案内表示について、具体的な活用はあるか。

再答弁（健康課長）

事業所等を対象にした登録制度において、ステッカーなどの案内証を遠くからでも、誰もが見やすい場所に設置していただくよう協力を呼びかけていきたい。

その他の質問

・市民の健康意識を高める表彰制度について

公明党

猪木 義郎

集団登下校の

安全対策について

質問

全国各地で登下校中の児童を巻き込む交通事故が多発しており、本市でも危険箇所が見受けられる。次の3点に関する当局の考えは。

①通学路などの安全対策を抜本的に見直すため、(仮称)通学路安全対策協議会を設置する考えは。

②通学路の安全点検調査をゼロベース、かつ子どもの視点で行う考えは。

③通学路での事故を防ぐため、啓発等を行う考えは。

答弁(教育部長)

①通学路は警察、自治会、保護者などと協議し、各学校単位で地域の実情を踏まえ決定されている。新たに協議会を設ける考えはない。

②関係者の協力のもと、通学路に潜む危険箇所につい

て調査を行い、毎年、通学路安全マップを更新している。今後は学校、保護者、警察署などを含めた合同の点検実施を検討したい。

③子どもの交通事故はあってはならない。通学路に対する安全対策について、関係部署と協議を進め、改善していきたい。

再質問

通学路について、危険を訴える保護者の声が届いていない。関係者全てが危険箇所を認識し、情報を共有することで、初めて対策や解決ができるのではないか。

再答弁(教育部長)

関係部署とも情報を共有し、ガードレールや信号機の設置を求める要望など、少しでもクリアできるように協議したい。

再々質問

子どもの命を守るため、できる限りの対策と運転者に対する注意喚起を啓発す

べきではないか。

再々答弁(教育部長)

子どもたちに対しても、事故の恐ろしさや身を守るすべをさらに教えるべきと考えており、学校とも協議する。



日本共産党

大原 久直

市民の騒音に対する苦情の解決策について

質問

市民から深夜も営業されているスポーツ施設に対して、「うるさくて眠れません。何とかしてください」との苦情が寄せられている。安心して睡眠をとり、明日へ

の活力を大切にする生活を脅かされている。市民の願いに応えていただきたい。

当局の対策は。

答弁(防災環境部次長)

当該スポーツ施設は、愛知県の「県民の生活環境の保全等に関する条例」の深夜営業騒音の規制対象業種に該当していないため、現状では所有者の良識の問題である。今後も所有者に理解を求めるため訪問し、指導をする意向である。現在、県民の生活環境の保全等に関する条例の深夜営業騒音の規制対象業種に当該スポーツ施設を追加してもらうよう県に働きかけている。

再質問

県と市当局で話し合い最善の解決策を見出す努力をお願いしたい。

再答弁(防災環境部次長)

市民が安心して生活できるよう、県と連携をとって指導していきたい。



再々質問

騒音の実態を確認し、市の条例において規制する考えは。

再々答弁(防災環境部次長)

市独自の条例では、規制力が弱いと思われる。現行の県の規制条例を改正するのが的確であると考えて。規制の実現に向け、県に対して積極的に働きかけていきたい。

その他の質問

- ・市の発注する工事請負契約について
- ・公共施設の指定管理について

北名古屋市民クラブ

伊藤 大輔

「脱原発をめざす
首長会議」へ参加を

質問

静岡県や福井県にある原発のどれか一つでも事故を起こせば、北名古屋市も放射能に汚染される。「脱原発をめざす首長会議」に参加して一日も早い脱原発社会の実現を目指す考えは。

答弁(市長)

原発廃止だけに焦点を当て論ずることは、環境問題や電力供給不足など市民生活や産業にも大きな影響を与えるというのが現実的な考え方である。「脱原発をめざす首長会議」への参加については、各自治体と連携を図りながら検討していきたい。

再質問

経済優先か人命優先かという議論はおかしい。人命

優先に決まっている。今こ

そ地方自治体の首長や議員が脱原発を訴えなければ、市民の生命財産を守ることのできる政治は実現しないのではないか。

再答弁(市長)

首長会議への参加に固執した考え方もあるが、他の愛知県内の首長と今後原発に対する考え方を意見交換しながら方向性を見出していききたい。

再々質問

民意を受け止める政治家が少ないからこそ、一人でも多くの参加を呼び掛けている。もっと積極的に脱原発の声を上げるべきではないか。



再々答弁(市長)

脱原発に対する議論が愛知県の中で十分されているという段階でない。もっと広く意見交換をした中で議論を深めていきたい。その結果として首長会議に加盟するかしないかの方向性が出てくると考えている。

その他の質問

・議員の附属機関等への参画の見直しについて
・附属機関等の情報公開の徹底を

市民民主クラブ

上野 雅美

介護マークについて

質問

介護マークは、静岡県が昨年4月から始めた取り組みで、外出先でのトイレの介助や男性介護者が女性の下着を購入するときなど、介護中と書かれたカードを首から掲げることで周囲の



方の誤解を受けることなく介護することができる。昨

年12月には、厚生労働省から、介護マークの普及について、静岡県の取り組み事例を各自治体の実情に応じて参考にしよう事務連絡が出されている。本市においても、介護マークを導入する考えは。

答弁(高齢福祉課長)

社会全体で介護を支える仕組みとして、介護保険制度が創設されてから12年がたち、周りの理解も相当進んでいるのではないかと考える。介護マークの導入については、介護する方や介護される方などの意見を聞きながら、その必要性や動向などを踏まえ、研究していきたい。

再質問

静岡県の県政、インターネットのモニターアンケートで、介護マークの意味を含めて知っているかと答えた方が40パーセント以上あり、必要があった場合には使いたいという方が88パーセントとなっている。介護マークをホームページでダウンロードできるようにすれば費用をかけることなく、介護する方の要望に応えることができる。当局の見解は。

再答弁(高齢福祉課長)

介護マークの活用について普及啓発も含め、今後、研究していきたい。



無党派

桂川 将典

東図書館内の会議室・視聴覚室・和室の利用について

質問

①施設の予約に関する情報を見つけないことができない。なぜ施設の予約について情報が提供されないのか。
②図書館年報の平成22年度実績資料に示されている利用回数には、行政関係者が利用した件数も含まれているのか。

③稼動状況から、会議室、和室などは過剰供給と思われる。他の用途を検討するべきではないか。

答弁（教育部次長）

①図書館の会議室等の貸し出しについては、読書クラブや日本史を学ぶ会など8団体のボランティアサークルと行政関係者の会議に限定しており、広く市民への予約情報の提供は行っていない。

②行政関係者の利用も含まれている。

③和室の利用は非常に少ない。情報社会の進展に伴い、今後は、情報提供ができる施設環境が望ましいと考えており、施設改修が必要となる時機に併せて施設整備ができるように努めいきたい。

再質問

行政関係者が利用する割合は。

再答弁（教育部次長）

およそ8割が行政関係者である。

再々質問

図書館として市民の知識と教養を結びつけるレファレンスサービスあるいは、情報発信について検討願いたい。今後、東図書館の会議室あるいは、和室の整備をどのように進めていくのか。

再々答弁（教育部次長）

さまざまな図書の貸し出しを行うなど文化活動に寄与している図書館である。図書館の会議室等については、有料で貸し出しをしている他の公共施設等との整合性を図るため、一般貸し出しを行っていない。

その他の質問

・今後の公共図書館の役割について
・時代に合った図書館の活用に向けて



東図書館

…市議会からのお知らせ…

市議会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会、特別委員会は、一般に公開されており、傍聴することができます。

皆さんの生活に直結した重要な事項等が審議されています。

ぜひ、傍聴してください。

傍聴の手続き、会議の日程等、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

会議録検索システムをご利用ください

北名古屋市議会では、会議録検索システムを導入しています。

このシステムにより、本会議等の会議録をインターネット上でご覧いただくことができます。

ぜひ、ご利用ください。

市のホームページアドレス

<http://www.city.kitanagoya.lg.jp>

【お問い合わせ先】

☎(0568) 22-1111

議会事務局 内線3413



議会活動報告

5月7日	議会運営委員会	6月1日	本会議 (定例会)	7月1日	水防訓練
	議会だより編集委員会	7日	議会運営委員会	5日	議会報告会検討部会
14日	本会議 (臨時会)	11日	本会議 (定例会)	10日	愛知県消防操法大会出場団激励会
	京都府舞鶴市議会視察来庁	14日	福祉教育常任委員会	11日	議会だより編集委員会
19日	愛知県植樹祭	15日	建設常任委員会	12日	議会報告会検討部会
22日	香川県観音寺市議会視察来庁	18日	総務常任委員会	21日	愛知県消防操法大会
		21日	議会運営委員会	25日	尾張農業共済事務組合
23日	全国市議会議長会定期総会	22日	議会改革推進協議会	26日	議会改革推進協議会
			本会議 (定例会)		尾三十市議会議長協議会
25日	議会運営委員会	27日	北名古屋水道企業団議会臨時会		
	京都府長岡京市議会視察来庁	28日	西春日井広域事務組合議会臨時会		
26日	長野県大桑村育樹祭				



訓練に励む消防団

編集後記

5月に議会役員の改選を行い、新しい体制での議会運営がスタートしました。議会だよりも今回から新しい編集委員により発行します。

議会に関心をもっていたため、委員一同市民の皆様にかりやすく、読みやすい議会だよりづくりをモットーに鋭意努力してまいります。

さて、今号から議会改革推進協議会における議会改革の取り組みについて報告させていただきます。親しまれる開かれた議会としての市民の皆様の評価材料になるのではないのでしょうか。

暑い日が続きますが、体調など崩されませんよう、お過ごしください。